

# 平成 26 年度 第 2 回 COC 実施本部会議 議事録

平成 26 年 8 月 27 日(水)  
教学運営会議終了後～  
場所：9 号館 911 教室

出席者：清水学長・齋藤教育開発センター長・田浦学生部長・岡野研究開発推進センター長・西谷事務局長・木村企画部長・橋本地域連携推進担当課長・水本学生支援部長・山村教務担当課長

## 議 題

### 1. 平成 26 年度大学改革推進等補助金（大学改革推進事業）調書及び平成 26 年度大学改革推進等補助金調書（地（知）の拠点整備事業）確認事項について

清水学長の求めにより、木村企画部長から資料に基づき説明があった。

8 月 12 日締切で文科省に調書を提出した。文科省より調書について確認事項に対する回答及び、回答に沿って一部分修正した調書を 8 月 25 日付けにて文科省に提出したことの報告があった。変更点としては予算金額の減額を行った。文房具費 100 万円のところ今年度は、採択後の期間が半年ということで 50 万円に削減、補助金説明会で補助対象外の指摘があった JMOOC への協賛会員費 10 万円等については補助対象外とするなど、予算を減額して提出したことの説明があった。

補助金交付申請書を出して良いということであれば内定が確定される。5 年分の予算申請書を出しているが毎年予算調書・交付申請書の提出が必要となることが確認された。

審議の結果、異議なく了解された。

### 2. 全学生・教職員への周知(案)について

清水学長の求めにより、木村企画部長から資料に基づき説明があった。

職員については 8 月 11 日に開催された職員研修において周知済みである。全学生については指導教員より 9 月 19 日(金)の春学期成績通知書配布時に資料を配付、教員については 9 月 3 日に開催される教授会、9 月 24 日教授会終了後の全学 F D で行うことで全学生・教職員周知を行いたい。齋藤センター長より、9 月 24 日の全学 F D を欠席された場合は DVD で録画したものを見ていただき内容確認の調書を出していただきたいとの説明があった。

審議の結果、異議なく了解された。

### 3. 自己点検・評価及び外部評価体制(案)について

#### 1) 自己点検・評価及び外部評価体制(案)について

清水学長の求めにより、木村企画部長から資料に基づき説明があった。

9 月 5 日に開催される市町の方々との COC 運営会議において諮る文章の(案)である。

評価項目については、「地（知）の拠点整備事業」の申請どおりであり、毎年自己点検・評価をしていくこと。

委員メンバーについては COC 運営会議のメンバーを基本として

委員長を清水学長

副委員長を齋藤教育開発センター長

委員を 3 市 5 町の運営会議メンバーと筒井教授、笠原教授、板井准教授、特命教員 3 名 (H27.

4.1 付採用)、事務局より木村企画部長、橋本地域連携推進担当課長、企画部地域推進室専任職員 (H27. 4.1 付採用)、その他委員長が指名する者若干名とする。

なお、3 市 5 町の運営会議メンバーを基本とする首長の都合がつけば首長の出席も認める。

また、自己点検・評価委員会を平成 26 年度は 10 月と 3 月に平成 27 年度から平成 30 年度は 5 月と 3 月に開催し、委員会は年度末に自己点検・評価を行い自己点検・評価書を作成することの説明があった。

審議の結果、異議なく了解された。

## 2) 外部評価委員の委嘱(案)について

清水学長の求めにより、木村企画部長から下記3名の方に委嘱する提案があった。

- ・丸山 仁 氏 (岩手大学副学長／同大学 C0C 実施責任者 平成 25 年度採択校)
- ・岩崎 恭典 氏 (四日市大学総合政策学部教授／同大学 C0C 実施責任者 平成 26 年度採択校)
- ・〇〇 〇〇 氏 (滋賀県立大学教授／同大学実施責任者 平成 25 年度採択校)

また、自己点検・評価委員長は外部評価委員を年に2回招聘し、年度計画及び年度末の自己点検・評価に関し、外部評価を委嘱する。

自己点検・評価委員長は自己点検・評価及び外部評価委員からの意見を踏まえて、年度末に業績報告書を作成し、実績報告書を提出することの説明があった。

審議の結果、異議なく了解された。

## 4. 国内先行事例視察先(案)について

清水学長の求めにより、木村企画部長から視察先として下記大学の提案があった。

- ・岩手大学 (地域と創る ‘いわて協創人材育成+地域定着 “プロジェクト”)
- ・滋賀県立大学 (びわ湖ナレッジ・コモンズ-地と知の共育・共創自立圏の形成-)
- ・長崎県立大学 (長崎のしまに学ぶ-つながる とき・ひと・もの-)

審議の結果、異議なく了解された。

なお、滋賀県立大学には9月4日(木)に訪問する予定であることが報告された。

## 5. 地(知)の拠点整備事業(COC事業)採択校情報交換会への入会について

清水学長の求めにより、齋藤教育開発センター長から資料に基づき説明があった。

中部地区(長野県、富山県、石川県、福井県、静岡県、愛知県、岐阜県、滋賀県、三重県)のCOC事業の連絡会の幹事校である岐阜大学より近隣の9大学(中部大学・名古屋学院大学・金沢大学・金沢工業大学・滋賀県立大学・富山県立大学・信州大学・福井大学・岐阜大学)からなる「COC事業採択校情報交換会」への情報提供と参加案内があった。情報交換をすることで、相互の事業の課題とか良い工夫を知ることができる機会でもあるということより、入会する提案があった。

なお、この会は入会手続きや要項・規程並びに入会費・年会費などは必要なく、必要経費としては開催会場までの旅費と懇親会費等の会費が必要である。

審議の結果、異議なく了解された。

なお、今年度は9月10日(水)午後2時より岐阜大学サテライトキャンパスにおいて開催される予定である。後日開催案内等が岐阜大学から届く予定であるとの報告があった。

## 6. 実施本部会議日程(案)について

清水学長より実施本部会議の開催日程については、原則、教学運営会議終了後に開催することが提案された。

審議の結果、異議なく了解された。

よって、第3回は9月18日(水)教学運営会議終了後に開催することが確認された。

## 7. その他

西谷事務局長より、特命教員の任用について、いつどこがどう担うのかという質問があった。

齋藤教育開発センター長より、課題学習支援室に配置する特任教員ということであり、課題学習支援室は教育開発センターに置くと申請書に記載されているので、教育開発センターから人事の言挙げしていきたいとの提案があった。

審議の結果、異議なく了解された。